

●2021年3月21日に誕生した とやま地域ケアユニオンです。 ～組合の無い職場の悩み出し合い、声を上げ 介護医療にえがおと希望を～



ゆる～く 楽しむ
できることを

- (1) 地域から共同して
ネットワークを広げます
- (2) 賃金労働条件の改善
制度改善に取り組みます

●幸せのおすそわけ
とやま地域ケアユニオン
紹介運動をすすめます

紹介者にも加入者にも
クオカードプレゼント



3月21日、とやま地域ケアユニオン結成総会が開催されました。富山地域で3番目の医療介護の労働組合の誕生です。

当日県労連から増川事務局長がかけつけ、「人手不足で夜勤回数が多くもう続けられない」「パワハラを受けている」などの労働相談が少なくない、介護は矛盾の多い業種だと思ふ。労働組合で認識を共有し変えていく力にしていこうと激励。

日本医労連や、県内のほとんどの自治体にケアユニオンを作っている愛知県医労連からメッセージが届けられました。

富山地域の 介護医療要求実現へ

人手不足を解決することは今や国民的課題です。賃金労働条件が悪いままでは未来はありません。特定処遇改善加算・最低賃金など今医労連などの労働組合の運動で現状を変えつつあります。

総会では紹介運動を

すすめ現在の倍のケアユニオンを作ることも確認しました。

しゃべり場で 労働条件チェック

「タイムカードがない」「ゴールデンウィークに働いても、早出をしても手当てがつかない」「上司に掛け合ったが聞いてもらえなかった」「前もって申請がない」と30分以内は残業代は支払われないことが恒常化している

「利用者さんの数によって労働時間が短くなりその分賃金が支払われな

あなたの権利守られているかチェック

有休休暇がとれない	
休憩がとれない	
サービス残業がある	✓
パワハラ、セクハラがある	
通勤手当・慶弔休暇などパートと常勤職員で差がある	
労働契約書がない	
約束よりも給料が安い	✓
育児・介護休暇をとれない	

「パワハラが中々止まない」「看護師で同じ法人でも施設からデイに移動となったら時給が100円低くなった。あらかじめ聞いていなかった。等々次々実態がだされました。その場で1人組合に加入され、ご本人と紹介者はクオカードをゲット。

委員長(司会など担当書記長(連絡など担当)を決め、事務局は、県医労連・地域労連が行うことを確認しました。

次回しゃべり場 8月ころ、テーマ 笑いヨガの予定 日程追って連絡します～